



2020・1・11

第 361 号

101-0065 東京都千代田区

西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

今年こそ安倍9条改憲に終止符を！

新年 3 日からスタンディング

【国会正門前】 今年こそ安倍 9 条に終止符をうとうと、新年早々の 3 日から、澤地久枝さんがよびかけた「アベ政治を許さない」のポスターを掲げたスタンディングが全国各地で取り組まれました。

東京千代田区の国会正門前には行動を呼びかけている作家の澤地さんをはじめ、渡辺一枝さん、落合恵子さん、コメディアン松元ヒロさんら約 350 人が集まりました。

澤地さんは、政府が自衛隊の中東派兵を決定したことに関して、「自衛隊が本格的に海外に出ていく。これで何かがあれば日本はたちまち憲法など無視して戦争の方に行きかねないと思います。本当に極めて危ないぎりぎりのところまで来ています。わたくしたちの気持ちを無視しようとする安倍政治を私は許すことはできません」と述べました。

埼玉県から参加した男性 (76) は、「うそばかりで、市民いじめ、戦争へ進もうとする安倍政治はいいかげんにしてほしい。安倍政治を倒すため、野党は市民の側に依

安倍首相の改憲発言つづく

安倍首相は 1 日付年頭所感を発表し、「未来への躍動感あふれている今こそ、新しい国づくりを力強く進める時だ」とし、東京五輪や内政、外交について言及し、その結びとして次のように述べました。「未来をしっかりと見据えながら、この国のかたちに関わる大きな改革をすすめていく。その先にあるのが、憲法改正だ」

さらに 6 日、伊勢市でおこなった年頭の記者会見で、「(憲法改正を) 私自身の手で成し遂げていくという考えに全く揺るぎはない」「まずは (20 日召集の) 通常国会の憲法審査会の場において、令和の時代にふさわしい憲法改正原案の策定を加速させたい」と語りました。

「押し、頑張って共闘してほしい」と語りました。

墨田区から来た 70 代の女性は「安倍政治を早く終わらせたい。憲法 9 条を絶対に守るためにできることをやりきりたい」と力をこめました。

【東京府中市】 「アベ政治を許さない」スタンディングが3日、東京府中市の初詣でにぎわうけやき並木で行われ、28人が参加しました。

2015年の安倍自公政権による戦争法強行に抗議して、94回目の行動です。金子兜太さん揮ごうの「アベ政治を許さない」のフリップを掲げ、「安倍9条改憲反対」「桜疑惑、カジノ疑惑を解明せよ」「自衛隊の中東派兵反対」「消費税5%に引き上げよ」「連合政権へ野党は共闘しよう」とアピールしました。

「首長の会」入会攻撃に反論

【東京武蔵野市議会／松下玲子市長】

東京武蔵野市議会の12月4日の本会議で、自民党議員が松下玲子市長が「全国首長九条の会」の共同代表に就任したことをとりあげ、「（首長の会）市民の福祉の向上につながる団体なのか」「改憲は武蔵野市に直接かかわることなのか」としつつよくくってかかりました。

この攻撃を、松下市長は「市民のためにも9条を変えない立場を明確にすることは必要である」ときっぱりとはねのけました。「平和国家日本を後世に引き継いでいくために、また公務員は憲法尊重という宣誓もおこなっています。憲法を守ることは非常に大切で、市民福祉の向上に資すると思っています」「首相が9条を変えると信念をもって取り組んでいるなら、私自身も信念をもって市民のためにも9条を変えない立場を明確にし、改憲発議に言及されている中で必要である」「改憲発議がされた場合、国民投票がおこなわれ、市にも国民一人ひ

とりにも関係がある。私は子どもたちのために平和を未来につなげていくためにも、今はしっかりと自分のスタンスを示して、行動すべきときが来ていると判断し、行動しました」と反論しました。

署名目標の達成も間近に

【横浜市青葉区／青葉台地域九条の会】

●9の日定例行動（駅宣）

寒風の吹きすさぶとても寒い日でした。8人が参加し2時から青葉台駅西口で、「安倍政権がシュレッターにかけたのは日本の民主主義だった」（安倍桜の名簿破棄）とよびかけ、3000万署名を訴えた。寒さのせいか反応はかなり悪く、署名は30筆と少なくてなく少なかった。それでもそのうちの15筆をこの日もまた久保田さん一人で集めた。

途中で平石さんが通りかかり、「平和は大事、憲法を守りましょう」とマイクを握って言わされていました。みんなの声を直接届けたい、いつも言っていることです。

3000万署名のこの会の到達点 3,477筆（残り523筆）

●11月の月例会 いつも辺野古基金カンパ活動をしておられる沖縄出身の津波古さんが首里城再建のカンパ活動として和服の綺麗な布で作った小物入れを会場で売られました。売り上げの1万3千円に加え、芝崎さんが1万円のカンパをされ、あまりの嬉しさにか泣き崩れておられた津波古さんが印象的でした。

また、それを見た棚橋（千）さんが、得意の手芸でその小物入れを作る手伝いをしましょうと協力申し入れされた。

<青葉台9条の会の縁厚く

「何でも手伝う」 ささやく友は>

12月の望年会の席で棚橋（千）さんが作った20枚の小物入れを8枚販売し、残った12枚をなんと村雲さんが外の場所で販売したいと協力申し込まれたとの嬉しい話。

●12月の月例会、望年会 12月18日、香港亭で5時から開催 月例会は短時間で切り上げ、早々に望年会に移った。望年会は今年も18名が参加し、隈崎さんの司会でそれぞれ記憶に残る会となった。

月例会に芝崎さんが資料として配ってくれた毎日新聞の記事（2件）が、トップの「年頭所感」の指摘にもなっているが、望年会の場では石畑さんが安倍改憲の現状について、「一刻の猶予もできない」外堀のすべてが埋め尽くされている、残るは9条の名目改憲だけ（それも強引な改憲発議が模索されている）、強い危機感を持って臨もう、とよびかけられたのが印象に残った。

ヒトラーがワイマール憲法には手を付けず、「民主的」な手段でナチス独裁を短時間で作り上げた手口を麻生は学ぼうといったのであり、すでに日本は同様に独裁になっているという、この現状認識を共有したいものと痛感した。

（『青葉台地域九条の会ニュース』N o 148）

紙芝居一座で市民祭り参加

【埼玉県久喜市／九条の会・久喜】 秋晴れの空の下、今年もわが久喜9条の会は、紙芝居をメインにした『九条座』として久喜市民まつりに参加することができました。田村洋品店様斜め向かい「中原商店様」の倉庫をお借りして参加するようになって今年で10年ほどになります。

ミニ新幹線のレールが敷かれた旧駅前通りに面した九条座のブースは、新幹線に乗りたくてやってくる、小さなお子さんやご家族によびかけて、ちょっと立ち寄っていただくのが例年の流れです。

今年はTさんたちががんばって、まつりの実行委員やJRの担当のかたがたと交渉し、安全確保のためのレールを九条座の前の3メートルほどあけていただくことができました。これで、昨年、一昨年に比べて格段に九条座前を通るひが増えました。

木村事務局長の平和の詩、秋山典子さんのアピール文を掲載したチラシ入りのポケットティッシュも、快く受け取って下さる方が多く、ゴム風船はもとより、昼過ぎには配布完了となりました！

渋谷見次さん手作りの輪ゴム射的は今年も大人気で家族連れで何組も、歓声を上げながら挑戦していました。平和川柳の掲示の前で足を止め、眺めて「ほんとにそうだよなあ。」とうなづく人。

「9条改憲に賛成?反対?」のシール投票は、「賛成6票、反対23票」と、たくさんの方が意思表示をして下さいました。中には「国を守るためには軍備はあった方がいいんじゃないの?」などと、改憲論議が始まる場面もありました。（菅谷和子「九条の会・久喜」51号）

「母べえ」上映会の感想から

【神奈川県厚木市／相川九条の会】

戦争だけでは何が何でも始めちゃいけない、その気持ちを再確認する一つの機会として上映会をしています。11月26日は「母べえ」

を上映。20人余りの参加があり、ほぼすべての方がアンケートに答えて下さいました。

半分以上が、私のみならず多くの任意団体で今は70代が活動の主力であり、続いて80代、60代となります。情報源は「九条の会ニュース」7人、「公民館便り」7人、チラシ3人、公民館・児童館の掲示が2人でした。

自由にお書きいただいた感想は、「戦争は絶対ダメ」と、当然のことではあるけれど繰り返し何べんも何べんも言いつづけなければいけないことを、皆さんおっしゃいます。平和な世の中に生きている幸せをありがたく思い、この暮しを守っていくことが大切だと書かれていました。便利で快適な今の生活が当たり前と思いがちだから、戦争のむごさをこのような映画によって呼び覚ますことも必要だという意見や、感動の連続、涙がとまらないという感想も何人かの方からいただきました。

(「相川九条の会ニュース」No131)

戸別訪問署名の経験ご報告

【神奈川県厚木市／あつぎ・九条の会】

9月に続けて11月17日(日)25日(月)3000万署名の戸別訪問を行いました。場所は三田地区の戸建て住宅約160軒です。

この行動の4日前に「署名お願い、署名用紙、近日回収に伺う旨のチラシ」を3点セットでポストイングしておきました。

当日は10時集合、参加人数は8名、2人1組で4組に分かれ各組訪問エリアを示す地図を持って出発。その際、訪問初心者用に下記の「訪問手順ガイド」を予習し気軽に使えるような工夫をしました。

訪問の手順

手順1 「ピンポーン」

手順2 「九条の会の〇〇です、署名用紙を受け取りに伺いました」

手順3 署名されたお宅から「署名済み用紙」を回収。

お礼と共に、入会リーフとニュースを渡す。

手順4 「見ていない、わからない」

という方には署名の趣旨を説明し、その後署名を依頼する。

手順5 留守宅へは下記チラシ2通をポストイング。

- ・「憲法九条を変える本当のねらいとは…？」

- ・「ご署名頂ける場合は下記に電話または郵送のお願い」

今回は、36筆の署名と6名の入会。この中には留守にされていた方から電話連絡をいただき再度訪問したケースもありました。

今回の訪問で感じたことは、私たちの「3000万署名活動」も「九条の会」もご存知ないという方がまだまだ多いことです。

憲法9条を知らない方も多いです。訪問と会話によってそのような方々とも憲法や改憲の問題を直接話し合うことができました。たとえ署名は頂けなくとも、私たちの声は確実にお届けできました。

署名の数だけが成果ではないと思います。行動しなければ何も始まりません。どんな小さな一歩でも現実の行動に優る運動はないと実感しました。

猫褒めて、もらう署名に、犬が鳴く……

(「あつぎ・九条の会」NO158 伊部康雄)